

研究情報の公開PDFの原稿

承認番号	21-12
研究課題名	悪性大腸閉塞に対する内視鏡的大腸ステント留置術の有効性と安全性の検証
研究の意義・目的	悪性腫瘍による大腸閉塞に対する治療として、外科的手術、内視鏡的大腸ステント留置術、経肛門的イレウス管留置術があるが、当院では内視鏡的大腸ステント留置術による減圧を主に選択している。当院で使用しているBoston社製 Hanaro naturfitは比較的新しい金属ステントであり、まとまった報告例がないため、当院での症例において有効性と安全性を検証することを目的とする。
研究期間	承認日 ~ 2023 年 3 月 31 日
対象者となる方	2019年4月以降に当院で大腸腫瘍性狭窄に対して大腸ステント留置術を受けた患者様
利用又は提供する試料・情報	診療記録（血液検査やレントゲン写真などの結果を含む）
利用者の範囲	自施設のみ
診療科	消化器内科
代表施設と研究責任者	本院 消化器内科 山上博一
試料・情報を公表する方法	研究成果は研究対象者を特定できないようにした上で学会や学術雑誌等で公表する
試料・情報の提供方法	該当無し（提供する場合は例えばCDで研究対象者を特定できないように行う）
本院の研究責任者	消化器内科 山上博一
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否 されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	〒579-8026 東大阪市弥生町 18-28 石切生喜病院 電話:072-988-3121教育研究センター 秘書 谷川 (文書の場合は研究責任者に、電話の場合は秘書の谷川に連絡下さい)